

保温力強化マルチの効果確認試験

JA夕張市

小林 尚文



慣行区2



慣行区4



試験区2



試験区3



試験区7

試験目的

ほっとムラサキの効果確認

試験作物 及び品種

メロン

試験資材 及び数量(規格)

ほっとムラサキ(0.025mm×150cm×200m) 1本

慣行資材

農ポリ

栽培方法

定植日

慣行区:4月上旬

試験区:4月上旬

資材使用期間

3月~7月

試験結果

- (1)作物の生育状況または、収穫への影響
収量の調査はしていないので、収量にどれだけ影響があったかは判然としないが、若干規格は良かったように感じた。
- (2)栽培管理上の優位点あるいは問題点について
【優位点】:草が抑えられたのは良かった。
- (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について
慣行品と差はみられなかった。
- (4)促成・抑制効果について
初期成育は良かったように感じた。
- (5)保温効果について
根の痛みが少なかったことや、規格も若干良かったように感じていることから、慣行区よりも高いと思われる。
- (6)雑草・病害虫の発生について
雑草の抑制効果は高いと思われる。

モニター感想

弦の持ちがよかったので、逆に収穫は早くはならず、玉持ちがよかったように感じた。
気温の低い日が続いた後に、蒸し暑くなると、しおれが発生しやすいが、試験区は少なかったように感じた。
根の痛みも少なかったようにも感じており、規格も若干よかったように感じた。

JA担当者の感想(生産資材課 武田課長)

今回の試験では、ほっとムラサキマルチは中盤以降の促成効果があると思われそうですが、初期生育が遅れる部分がある様なので、春先の低温時の生育状況とマルチ内側の水分の状態の確認が更に必要ではないかと思われそうです。
価格面では慣行品に十分対抗できる価格帯だと思われそうです。

今後の使用について

改良して欲しい。

1 資材の種類

2 試験資材

3 製法/フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 防虫資材

9 ICT機器

10 その他